

# 県南農林だより

～ふくしまから はじめよう「食」と「ふるさと」新生運動ニュース～

第29号

令和元年5月30日発行

## 目次

○所長新任あいさつ

## 農林業関係の動き

- 「JA 夢みなみ TAC 指導員・営農指導員出発式」が開催されました
- 県南地方農産物の緊急時モニタリング検査等に係わる説明会を開催しました
- 家族経営協定の調印式が行われました
- 八溝山天然林について御紹介します

## コラム

○～食と命の大切さを学ぶ～ 西郷村立川谷小学校で「畑の学校」を開校しました！

## お知らせ

○学校給食等地産地消推進事業について

## 所長新任あいさつ



4月に県南農林事務所長に着任しました近藤仁志こんどうひとしと申します。県南地方は私の出身地であり2年ぶり3回目の勤務となります。県南農林だより「令和元年」最初の発行にあたりご挨拶申し上げます。

県南地域は関東地方に隣接した中通り地方の最南端に位置し、東北地方の玄関口となっています。阿武隈川、久慈川の源流域を有する豊かな自然条件に恵まれた地域でもあります。

農業では、水稻はもとより西白河地方を中心にトマトやブロッコリーの生産が盛んで県内有数の産地となっているほか、矢祭町のシクラメン、ポインセチア等の鉢花生産、埴町のダリア栽培など各地域で特徴のある取組も行われております。また、肉用牛、乳用牛や豚を主体とした畜産業も盛んな地域となっております。

林業では、素材生産量が県内の1/4を占めるなど東白川地方を中心に林産物の一大供給地となっています。生しいたけや木炭の生産は東日本大震災以降大きく減少したものの現在は回復傾向にあります。

農林業の振興に向け、放射性物質モニタリング検査や米の全量全袋検査に確実に取組むことはもとより、第三者認証GAPやFGAPの取得を推進し安全・安心な農林産物の供給に向け引き続き支援して参ります。また、ICT技術を導入したスマート農業の推進、新規就農者の確保、農業生産法人設立へ向けた支援、ほ場整備や農地の集約化等を通じて年々減少する担い手対策にも積極的に取り組んで参ります。さらに、6次化や地産地消の推進、販路拡大の取組みにより県南地方の農林産物の魅力を発信して参ります。

今年度も県南農林事務所職員が一丸となって、様々な農林業振興策に取り組んで参りますので、皆様の御理解、御協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。



# 農林業関係の動き

## 「JA夢みなみTAC指導員・営農指導員出発式」が開催されました

4月5日（金）、JA夢みなみ営農経済本店でTAC指導員・営農指導員出発式が開催されました。TAC指導員は先進的経営農家や中核的担い手農家との結びつきを強化するために総合的な営農指導や経営相談を実施し、担い手農家の所得向上を図ることを活動の目的としています。

出発式では、橋本JA夢みなみ代表理事組合長より、「JAは合併後4年で地域になくてはならない存在となった。本年度は複合経営の普及・推進により米穀、園芸、畜産事業で販売高170億円を目指す」との挨拶がありました。

また、米と園芸、畜産に取り組む複合経営「販売額1,000万円超」の生産者育成強化、農業所得5%アップに向けた技術支援・経営支援の強化、主力園芸品目（きゅうり、トマト、ブロッコリー）の生産拡大支援と販売強化などが計画として報告されました。

当事務所では引き続き、TAC指導員、営農指導員と連携を図り、農家所得の確保と産地の拡大に取り組んでまいります。 【農業振興普及部】



出発式の様子

## 県南地方農産物の緊急時モニタリング検査等に係わる説明会を開催しました

4月25日（木）、白河市表郷公民館にて、市町村、JA、直売所を対象に平成31年度県南地方農産物の緊急時モニタリング検査等に係わる説明会を開催しました。緊急時モニタリング検査の平成30年度の結果と今年度の進め方を説明し、検査に対する理解を深め、適切な出荷管理を指導しました。

平成30年度に県南農林事務所で実施した緊急時モニタリング検査において基準値を超過したものはありませんでしたが、野生山菜では一部の品目で出荷の制限指示が出されており出荷ができません。

また、出荷の制限がされていない野生山菜等の検査対象品目については出荷者名簿を作成し、モニタリング計画達成後に集荷をするよう指導しています。

今年度も関係機関と連携して計画的にモニタリング検査を実施し、県南地方の農林産物の安全性確保と情報の発信を継続してまいります。

【農業振興普及部】



説明会の様子



## 家族経営協定の調印式が行われました

4月24日（水）、白河市で「佐藤克也さん・さな子さんご夫妻」の家族経営協定の調印式が行われました。

「家族経営協定」とは、家族で取り組む農業経営について、経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境について家族みんなで話し合いながら取り決めるものです。

佐藤さんご夫妻の協定締結により、県南地方の家族経営協定締結数は107件となりました。

調印式において、克也さんからは農業経営と家庭生活のバランスを重視した経営を目指すことが宣言され、さな子さんからはインターネット販売や加工品の販売など新たな取り組みへの意欲が示されました。今回の協定締結を契機に、ご家族の絆がより深まり、より充実した農業経営が展開されることが期待されます。 【農業振興普及部】



締結者・立会人集合写真  
(中央2人が佐藤さんご夫妻)

## 八溝山天然林について御紹介します

福島県（棚倉町）と茨城県（大子町）の県境にそびえる八溝山（標高1,022m）の山頂から続く散策路を東へ約2km下ったところに、八溝山天然林保存区があります。

この保存区は、戦後の木材需要増大を受け豊かな緑が減少していく中で、人の手の加わっていない原生林を後世に残していきたいという地元住民の想いにより「八溝山天然林保存会」が結成され、昭和27年から今日まで守られてきたものです。

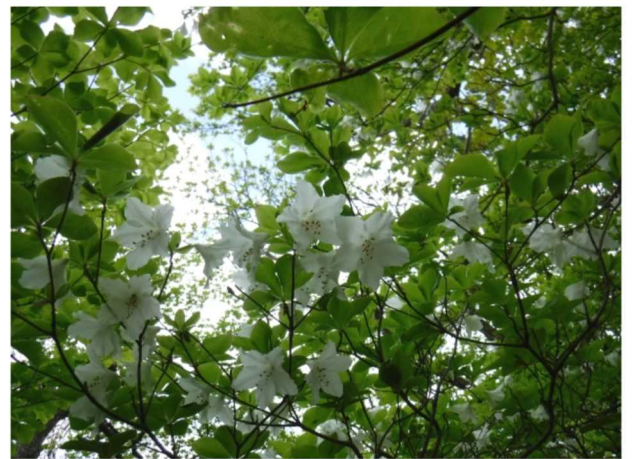
約44haの保存区には、ブナやナラ、シロヤシオなどの大木が群生しています。

去る5月17日（金）に、この天然林内にて八溝山天然林保存会の総会が開催され、一般参加の方も含め54名が、シロヤシオの花が咲く原生林の中の散策などを楽しみました。

保存会により、天然林内の遊歩道が整備され、また例年秋には、美しい紅葉の中、福島県森林環境税を活用して「登ろう会」も開催されていますので、皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。（※訪れる際は山歩きに適した服装で。また急な雨などにご注意ください。） 【森林林業部】



天然林内での総会



シロヤシオの花



## コラム

### ～食と命の大切さを学ぶ～ 西郷村立川谷小学校で「畑の学校」を開校しました！

「ふくしまの農育」事業の一環として、5月10日（金）に今年度から事業に取り組む西郷村立川谷小学校で「畑の学校」開校式を開催しました。

第1回活動ではふくしま食育実践サポーターで野菜ソムリエの藤田浩志さんふじたこうしによる講話と、地元農家の鈴木潔さんすずきよしに指導いただきスイカとじゃがいもを植えました。

藤田さんからは、かっこいい農業機械の紹介や、新鮮な野菜の見分け方など、ユーモアを交えながらお話いただき、笑いや関心の声が上がっていました。

鈴木さんからは野菜の栽培は一手間加えることが大事ということを教えてもらいました。スイカの苗は事前に水に浸すこと、種芋は半分に切った面が腐らないよう、乾燥させることなどの説明をいただきました。収穫に向けてこれからみんなで協力してお世話していきます。【農村整備部】



藤田浩志さんのユーモアたっぷりのお話に児童のみんなは興味津々！



みんなで「大きくなってね」と声をかけながら苗を植えました。

## お知らせ

### 学校給食等産地消費推進事業について

県では、県産農林水産物の消費拡大を推進するため、下記の経費を補助する事業を行っています。

- ①学校給食及び病院食において県産農林水産物を使用したメニューを提供するための食材購入費
- ②産地消費に関連した食育活動や研修費にかかる経費

※補助率（定額）：①【学校給食】児童生徒1人当たり 500円以内

【病院食】入院患者1人当たり2,000円以内

②1団体当たり：50,000円以内

詳しくは、県南農林事務所企画部（TEL：0248-23-1527）までお問い合わせください。【企画部】



お問い合わせ

福島県県南農林事務所 企画部 地域農林企画課

住所 福島県白河市昭和町 269 番地（白河合同庁舎 4 階）

TEL 0248-23-1576 FAX 0248-23-1590

ホームページ <http://www.plef.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>

